

# 運輸・倉庫業

## 業況、売上、採算

今期（2024.10～12）の業況判断DIは13.3で、前年同期（2023.10～12）と比べ19.9ポイント上昇し、プラスに転じました。

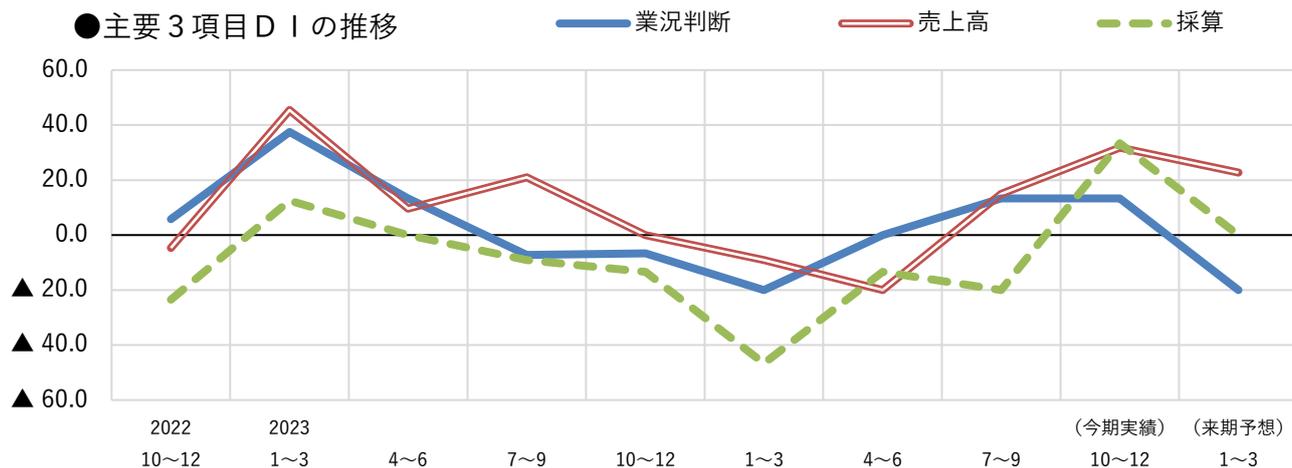
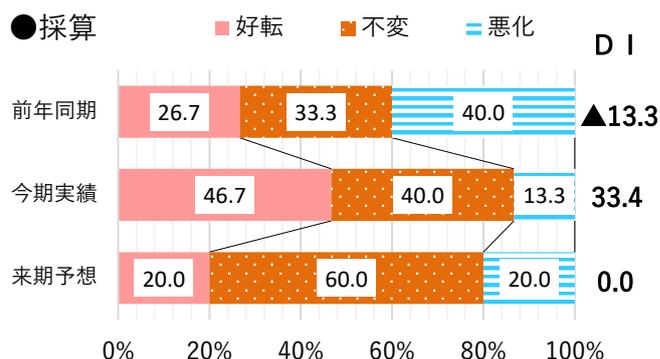
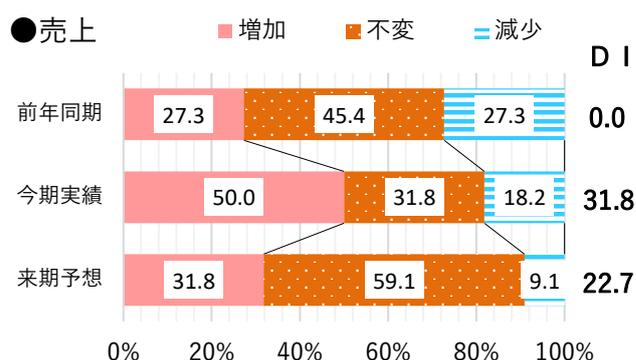
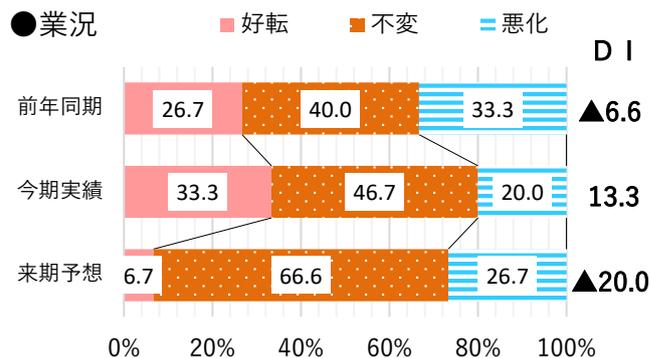
来期（2025.1～3）は、業況が大幅に悪化し、マイナスに転じると予想しています。

今期の売上高DIは31.8で、前年同期と比べ31.8ポイントと大幅に上昇しました。

来期は、売上の増加傾向が弱まると予想しています。

今期の採算DIは33.4で、前年同期と比べ46.7ポイントと大幅に上昇し、プラスに転じました。

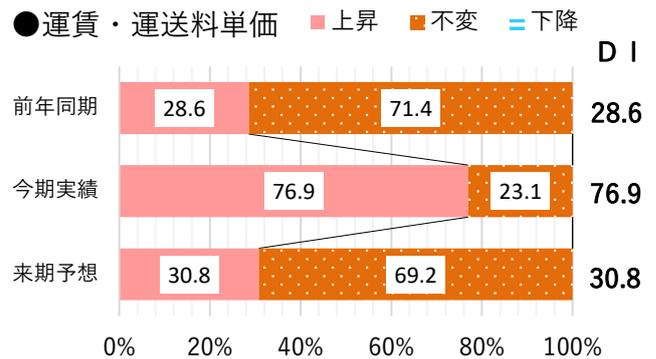
来期は、採算の好転傾向が大幅に弱まると予想しています。



運賃・運送料単価、保管料単価

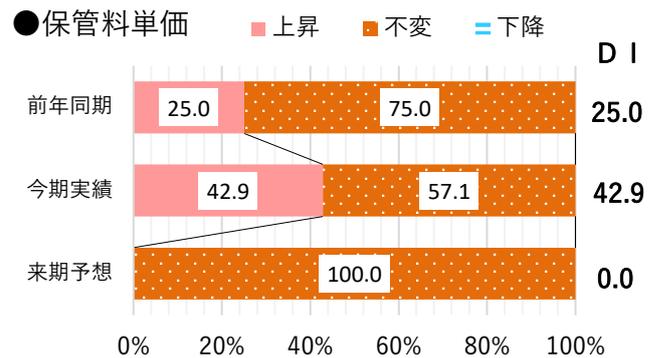
今期の運賃・運送料単価DIは76.9で、前年同期と比べ48.3ポイントと大幅に上昇しました。

来期は、運賃・運送料単価の上昇傾向が大幅に弱まると予想しています。



今期の保管料単価DIは42.9で、前年同期と比べ17.9ポイント上昇しました。

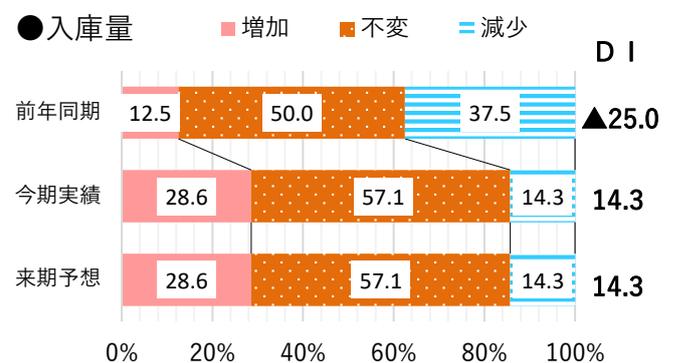
来期は、保管料単価に変化はないと予想しています。



入庫量、出庫量、保管残高

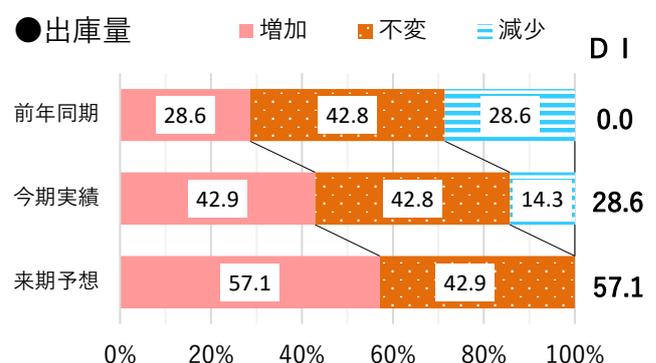
今期の入庫量DIは14.3で、前年同期と比べ39.3ポイントと大幅に上昇し、プラスに転じました。

来期は、入庫量の横ばいを予想しています。



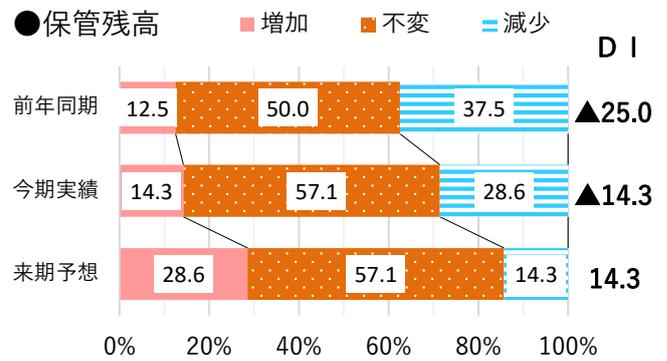
今期の出庫量DIは28.6で、前年同期と比べ28.6ポイント上昇しました。

来期は、出庫量の増加を予想しています。



今期の保管残高DIは▲14.3で、前年同期と比べ10.7ポイント上昇しました。

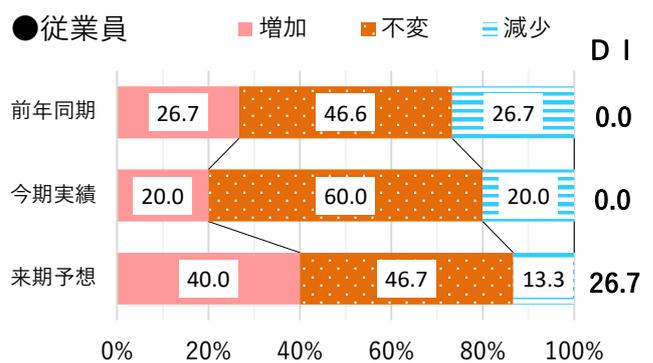
来期は、保管残高がプラスに転じると予想しています。



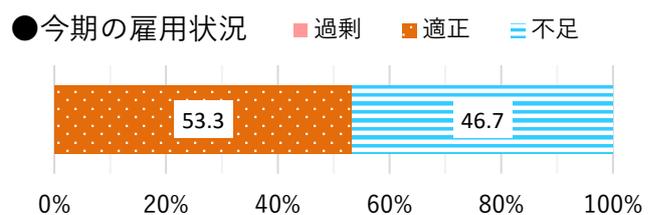
### 従業員、今期の雇用状況

今期の従業員DIは0.0で、前年同期と比べ横ばいとなりました。

来期は、従業員数が増加に転じると予想しています。



今期の雇用状況について、自社の従業員数が過剰であると回答した企業はなく、適正であると回答した企業の割合は53.3%、不足していると回答した企業の割合は46.7%でした。



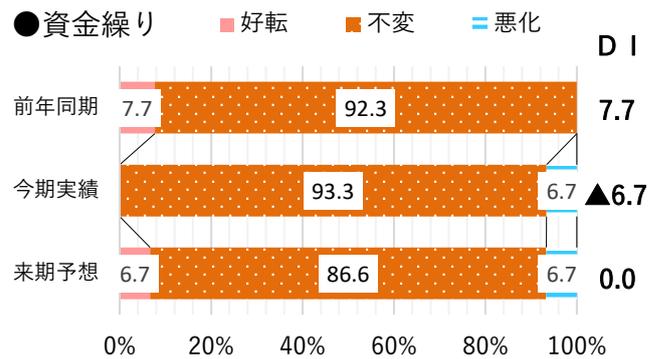
従業員数と雇用状況の相関関係について、最も多かったのは「従業員数は前年同期比で変わらず、充足している」という回答で、40.0%を占めました。46.7%の企業は従業員不足と回答しています。

今期従業員数	今期の雇用状況	回答数
増加した	過剰	0
	適正	2
	不足	1
不変だった	過剰	0
	適正	6
	不足	3
減少した	過剰	0
	適正	0
	不足	3

## 資金繰り、設備投資

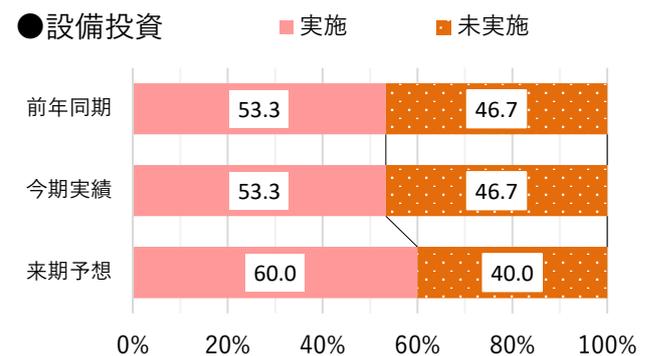
今期の資金繰りDIは▲6.7で、前年同期と比べ14.4ポイント低下し、マイナスに転じました。

来期は資金繰りの悪化傾向が弱まると予想しています。



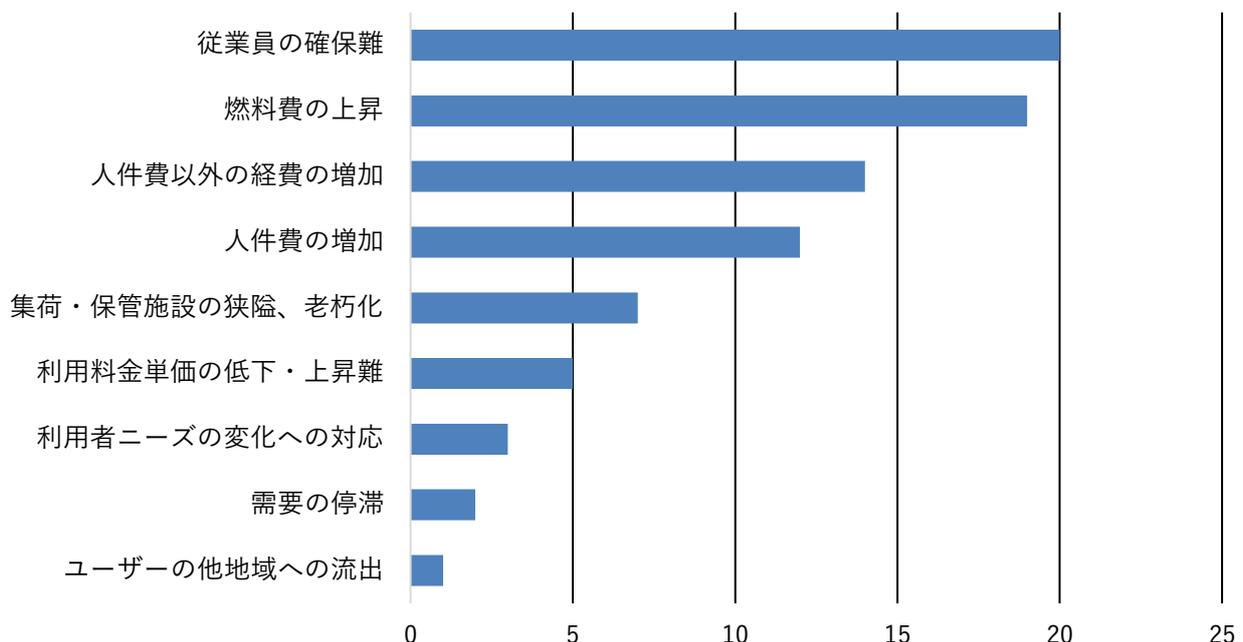
設備投資を実施した企業の割合は53.3%で、前年同期と比べ横ばいとなりました。投資内容は、1位が「輸送機材」、2位が「集荷・保管施設」、「付帯施設」（同位）の順です。

来期に設備投資を計画している企業の割合は60.0%で、増加を予想しています。



## 経営上の問題点

今期直面した経営上の問題点は、1位が「従業員の確保難」、2位が「燃料費の上昇」、3位が「人件費以外の経費の増加」の順です。



企業の声

[今期の業況について]

- 社員の待遇改善と運賃アップを並行してできており、人材も社員紹介制度を利用して問題なく確保できている。車両価格、燃料価格の高騰は厳しい。(道路貨物運送)
- 燃料費、車両代、修理代、タイヤ代、フェリー代、人件費等全てが値上がりした。(道路貨物運送)
- 運賃や倉庫料の値上げ効果で売上が増加した。(道路貨物運送)
- 昨年と同程度の売上で推移している。(道路貨物運送)
- タクシー運賃の改定により、営業収入が10%程度増加した。(道路旅客運送)
- 運賃改定により売上が増加した。(道路旅客運送)
- 後半は売上が増加した。(道路旅客運送)
- 値上交渉の効果で売上が増加した。取扱量はあまり変わらない。(倉庫)
- 新卒採用、中途採用ともに厳しい状況にある。(倉庫)
- 在庫量は横ばいだった。(倉庫)
- 昨年より売上が増加したが、燃料油は相変わらず高値が続いている。(水運)

[来期の業況について]

- 状況次第だが、新規顧客の獲得と運賃交渉を推進したい。(道路貨物運送)
- 輸送量を確保できるか不透明だ。(道路貨物運送)
- 昨年と同程度の売上を見込む。(道路貨物運送)
- 全てにおいて物価が高騰するため、先行きに不安を感じている。(道路旅客運送)
- タクシー運賃の改定による増収が続くと思われる。(道路旅客運送)
- 売上の増加を見込む。(道路旅客運送)
- 在庫量の減少、出庫量の増加が予想される。(倉庫)
- 採用活動が引き続き難航すると思われる。(倉庫)
- 定期検査による減便により、今期と比べ輸送量と売上の減少を見込む。(水運)